

「高崎プライド」 ～心と形を整える～

令和2年4月16日(木) NO4 文責 木下 文秋

どうってことない

4月は定期異動があり、色々な職場で部署や仕事の内容が変わる時期です。私の知り合いが今回の異動で自分が想定していなかった地区に転勤することになりました。私にとっても確かに意外な人事で、彼の様子から結構落ち込みを隠せないように見えました。異動に限らず人には想定外のことが起きたり、予想していなかったことに遭遇したりすることがあります。その時々「何で自分だけ…」等と気落ちします。確かに思いもよらぬこともあります。そういう時は大体ベクトルが外向きになっていることが多くて、結果を他人と比較して自分が悲劇のヒロインになっていることがあります。今回タレントの志村けんさんがコロナウイルスで亡くなりました。私達の世代はあの人の出る番組を見て育ったものです。動物を扱うテレビでもチンパンジーとまるで親子のような関係を楽しく拝見し尊い人を失ったと残念でなりません。他にも金メダルが期待された池江璃花子さんが白血病になったり、新聞やテレビを見ると多くの不運にさいなまれている事例を目にします。そんなことを思えば、今自分がくよくよしていることは本当にちっぽけなことだと思えるときがあります。車をぶつけたとき、「人をはねなくてよかった」と考え直すと気持ちの整理がつきます。例えどんなことがあっても「生きているからまだよかった」と思えば目の前で起きていることはどうってことないように感じます。今週の水曜日には、異動をした知り合いから「楽しくやってます」と連絡があったところです。

頼もしい2・3年生の姿

入学式が終わって総勢186名が揃いました。朝の玄関がにぎやかになってとてもうれしく思います。新3年生は教室が変わり見た目にも最上級生の貫禄を感じます。2年生も2階に上がってきて中堅学年としての位置をゲットしました。それにしても2、3年生は入学式の準備・設営に本当によく頑張ったと思います。見ていて誇らしく感じました。「入学式には参加できないけど精一杯の思いを込めて準備しよう」という先生達の声に見事にこたえてくれたと感謝しています。「以心伝信～思いが伝わる」が叶ったかなとうれしく思います。今の2・3年生の言動を見て1年生が育つのです。これこそ伝統！これこそ「高崎プライド」です！